

# UOMO SUNOCO TEAM LEMANS

#7 UOMO SUNOCO SF14

#8 UOMO SUNOCO SF14

2018年 SUPER FORMULA シリーズ  
第5戦(ツインリンクもてぎ)レースレポート



## 大会概要

2018年 全日本スーパーフォーミュラ選手権 第5戦

## 大会名称

ツインリンクもてぎ 2&amp;4レース

## 開催日時

8月18日 土曜(予選) 8月19日 日曜(決勝)

## 開催サーキット

ツインリンクもてぎ ロードコース(1周 4.801379km) 所在地: 栃木県芳賀郡茂木町松山120-1

## 同時開催レースカテゴリー

- ・2018年 全日本F3選手権 第10戦&第11戦&第12戦
- ・2018 N-ONE OWNER'S CUP Rd.11
- ・2018年 MFJ 全日本ロードレース選手権シリーズ第6戦(JSB1000)

## 主催

4輪: エムオースポーツクラブ(M.O.S.C.) / 株式会社モビリティランド

2輪: 一般財団法人日本モーターサイクルスポーツ協会(MFJ) / 株式会社モビリティランド / エムオースポーツクラブ(M.O.S.C.) = 協力

## 公認

4輪: 国際自動車連盟(FIA) / 一般社団法人日本自動車連盟(JAF)

2輪: 国際モーターサイクリズム連盟(FIM)

## 認定

株式会社日本レースプロモーション(JRP) / 日本フォーミュラスリー協会(JF3A) / Honda ワンメイクレース事務局(HORS)

## 後援

スポーツ庁 / 観光庁 / 茂木町

UOMO SUNOCO TEAM LEMANS 参戦体制

#7 UOMO SUNOCO SF14

ドライバー: トム・ディルマン  
出身地: フランス  
生年月日: 1989年4月6日  
身長: 177cm  
体重: 63kg  
血液型: O型



エントラント代表: 太田雅文  
監督: 片岡龍也

チーフエンジニア: スティーブ・クラーク  
チーフメカニック: 甲賀大毅

#8 UOMO SUNOCO SF14

ドライバー: 大嶋和也  
出身地: 群馬県  
生年月日: 1987年4月30日  
身長: 171cm  
体重: 61kg  
血液型: A型



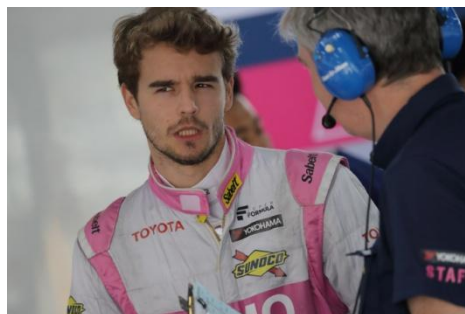
エントラント代表: 太田雅文  
監督: 片岡龍也

チーフエンジニア: ライアン・ディングル  
チーフメカニック: 北井修司

## レース情報

## 予選(8月18日)

天気: 晴れ / コース状況: ドライ  
 気温: 32度 / 路温: 42度(Q1開始時)  
 予選Q1開始: 14時30分



全7戦で催行される全日本スーパーフォーミュラ選手権、今季残すところは3戦となった。第5戦はツインリンクもてぎでの戦いである。第3戦SUGOでトム・ディルマンが4位、第4戦富士で大嶋和也が7位にそれぞれ今季初入賞、UOMO SUNOCO TEAM LEMANSは次第にいい流れをつくりつつあるところだ。マシンのパフォーマンスをさらに向上させ、夏のツインリンクもてぎで一層の飛躍を狙う。予選日はこの時季にしては暑さ控えめなコンディションに。オーバーテイクが難しいコースだけに、少しでも前のグリッドを獲得したい。

## #7 UOMO SUNOCO SF14

## トム・ディルマン選手

**予選結果: 11位(予選Q2ベストタイム: 1分32秒125)**

ドライコンディションの予選はQ1がミディアムタイヤ限定、Q2以降はより柔らかく、高いグリップ力を発揮するソフトも装着できる規則だ。もてぎでのレースは初めてのディルマンだが、Q1では安定的にQ2進出圏につける戦いぶりを披露。見事8番手でQ1突破を果たした。続くQ2でも健闘したが、このカテゴリー特有の僅差接戦のなか、11位に。Q3進出圏の8番手まで、あとわずか0.139秒だった。

## #8 UOMO SUNOCO SF14

## 大嶋和也選手

**予選結果: 15位(予選Q1ベストタイム: 1分33秒773)**

大嶋はブレーキまわりに問題を抱えつつの予選となってしまったが、それでもQ1の最後の土壇場までQ2進出圏内につけていた。しかし15号車のタイムアップにより、0.030秒差で惜しくもQ1落ち。Q2以降で使えるソフトの方にいい感触もっている今季だけに、ミディアム限定のQ1を突破しさえすれば上位グリッド獲得も期待できた状況、無念の結果だ。決勝での逆転入賞に照準を切りかえる。



## レース情報

## 決勝(8月19日)

天気: 晴れ~曇り / コース状況: ドライ  
 気温: 30度 / 路温: 42度(決勝開始前)  
 フォーメーションラップ開始: 14時15分  
 決勝レース周回数: 52周(約250km)



## #7 UOMO SUNOCO SF14

## トム・ディルマン選手

**決勝結果: 12位(所要時間: 1時間25分29秒147、ベストラップ: 1分35秒389)**

やや曇天気味ながら決勝もドライコンディションに。ソフトとミディアム、両方のタイヤを使わなければならない原則が適用される。ディルマンは11番グリッドからミディアムで発進し、給油すれば残り距離を走り切れるタイミングでピットインしてソフトを履く作戦だ。

1周目にひとつポジションを下げ、4周目にソフトで走る19号車に先行を許し13番手となったディルマンは、9周終了時にピットへ。ここから追い上げを、というところだったが、前を走っていた2号車も同じタイミングでピットインしたため、再びその後ろとなってしまふ。展開も味方せず、他車も交えた中団での接近戦が続いた。41周目に2号車を抜くが、その後も集団を脱せず、12位でのゴールに。

## #8 UOMO SUNOCO SF14

## 大嶋和也選手

**決勝結果: 5位(所要時間: 1時間24分58秒816、ベストラップ: 1分35秒015)**

大嶋はミディアムで15番グリッドからスタートし、1周目にソフトへと交換。燃費的にもう一度ピットインが必要にはなるが、そこでソフトに交換すれば、速い方のタイヤであり、しかも得意とするソフトで52周のうち51周を走れる利点を狙った作戦で浮上を狙う。

他車に邪魔されずに単独で長く走れることもこの作戦のメリットになるが、2周目以降、大嶋は素晴らしいペースで走り続けた。トップとの差が詰まっていくほどのペース、31周目には19号車をパスするなど、好パフォーマンス発揮で流れも引き寄せていく。大嶋が38周目に自身2度目のピットを済ませ、他車のピット作業もひと通り終わった40周終了時点で順位は8番手、入賞圏確定だ。43周目には5号車をパス、7番手へ。さらに最終盤、4号車と16号車も抜き、大嶋は都合10ポジションアップで5位入賞を果たした。

## レース情報

## トム・ディルマン選手のコメント

もてぎでのレースは初めてでしたが、ブレーキングが多用されるこういうコースも私は好きですね。このレースウィークは特に予選でのマシンパフォーマンス向上に取り組み、メディアムでのそれに前進を果たすことができたと考えています。ただ、決勝では流れが向かず、序盤にピットインした後はレースの最後まで常に誰かしらが自分の前にいる、そんな状況でした。ペースを上げられず残念なレースでした。

## 大嶋和也選手のコメント

ソフトでのマシンの感触は良かったですし、前戦富士以上にいいレースができましたと思います。予選で出ていた問題も解決されましたし、決勝レースの内容に関しては満足できる場所ですね。ただ、レースウィーク全体としては、まだまだ改善すべき点もあると思っています。次の岡山はチームとしてデータも豊富で好実績ですし、自分も去年、感触が良かったので、予選から上位で戦えるようにしたいですね。

## 片岡龍也監督のコメント

大嶋に関してはほぼ作戦通り、狙い通りのいいレースができました。単独で速く走ることが今回の作戦の重要ポイントだったわけですが、ハイライトは2回目のピットインの前に大嶋が19号車をコース上でパスしてくれたことです。あそこで抜けずにタイムロスしていたら、上位に入ることは難しくなっていたでしょうからね。ドライバーも頑張ってくれましたし、チームとしても作戦、ピット作業をしっかりやれました。

一方でトムの方は作戦的な流れが良くなく、集団に埋もれてしまったのは申し訳ないところです。マシンの仕上がりの的にもうひとつでしたね。ただ、チーム全体として、第3戦SUGO、第4戦富士、そして今回の第5戦もてぎと、ステップ・バイ・ステップで良くなってきていると思います。予選、特にメディアムタイヤに課題はありますが、そこも今回かなり改善できたと感じています。大嶋もブレーキ関連の問題が出なければQ2進出はもちろん、Q3に残ってトップ5あたりが見えていたはずですね。この流れを次の岡山でもっといいかたちにできるよう、頑張ります。

## シリーズランキング

トム・ディルマン	: 10位タイ / 5ポイント
ピエトロ・フィッティパルディ	: 一位 / ーポイント
大嶋和也	: 8位タイ / 6ポイント (今回4ポイント獲得)
チーム (#7 + #8)	: 6位タイ / 11ポイント (今回4ポイント獲得)

観客動員数

開催期間中 延べ入場者数 約37,000人

8月18日 土曜(予選日 天気:晴れ)16,500人 8月19日 日曜(決勝日 天気:晴れ~曇り)20,500人

イベントへの参加報告

ピットウォーク

開催日程:8月18日 10:50~11:35

8月19日 10:50~11:35

主催:日本レースプロモーション、ツインリンクもてぎ  
参加者:トム・ディルマン、大嶋和也  
ピットロード開放エリアにて握手&サイン会、撮影会、  
グッズ提供を行い、沢山のお客様をお迎えすることが  
出来ました。



キッズウォーク

開催日程:8月18日 17:00~17:30



グリッドウォーク

決勝レース前に実施。